



いいで町

161号

# 議会だより



飯豊わくわくこども園 入園式

## 3月議会(第9回定例会)

政策提言	P 2 ~ 3
平成28年度予算	P 4 ~ 5
施政方針・総括質疑	P 6 ~ 7
予算特別委員会	P 8 ~ 11
一般質問	P 12 ~ 14
各常任委員会	P 18 ~ 19
一部事務組合・編集後記	P 20

# まち“いいで”に

## 町長に政策提言

### 提言の趣旨

全国的に人口減少が進む中で、特に地方での人口減少が目立ち、本町も例外なく人口減少に歯止めがきかない状況である。

また、少子高齢化が進む中、社会福祉関連分野においては住民の多様な要望の増加も予想される。

自主財源に乏しい本町であるが、第一小学校改築や貸工場研究所設立などの大型事業の導入により、将来負担する金額が多くなるため、なお一層経費削減に努め、健全な財政運営を行うこと。

## 健全な財政運営を

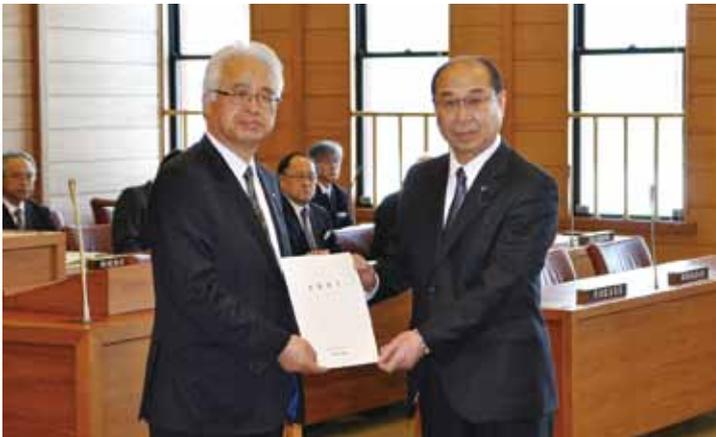
提言（総務文教）

2月16日、第1回臨時議会開始前、本会議場で議長より全議員合議による政策提言書を町長に提出しました。昨年度「みなさんと語る会」での意見、課題等について、議員間討議や常任委員会での活発な議論を経て、本町議会として2回目となる政策提言を行いました。

また、平成27年10月には政策提言進捗報告を受け、そ

の内容について検証を行いました。しかし、提言が複数年にわたることや内容が多岐にわたることなどから、即効性や実効性に乏しく見えにくいことから、今年度改めて精査し、政策提言を行ったものです。

- 一、 地方創生関連交付金を受けられる施策を積極的に展開すること。
- 二、 事業を展開するにあたり有利な地方債を活用し、自主財源を最小限に抑えること。
- 三、 人件費、物件費など義務的経費の削減を図り、補助費等については内容を精査し、抑制を努めること。



注釈 ※1 自主財源＝町民税等 ※2 義務的経費＝人件費、扶助費・公債費（借金）  
※3 補助費等＝団体・組織などの補助金

# 住みよい・魅力ある

## 提言の趣旨

国の農業政策はめまぐるしく変化する昨今である。また、大規模農家は育成されても、小規模農家の多くが切り捨てられる現状であり、とりわけ本町の場合は小規模農家が多く、数ある補助事業にも該当せず、経営が困難になっていくことは目に見えている。

このようなことから、本町独自の政策を展開し、基幹産業である農業を守っていく必要がある。

特に、6次産業化に対し積極的かつ、現実的に取り組み、将来の農業と農家の経営を行うこと。

提言（産業厚生）

## 6次産業化に向けた

## 積極的な取組を

- 一. 本町の土壌や地形等に合った、比較的農家の方が取り組み易い奨励作物を早急に見出し、決定すること。
- 二. 農作物を加工する施設を整備し、収穫した作物を持ち寄り、農家自ら加工販売できる体制を構築すること。
- 三. 6次産業化実現のため、公募した「農の未来賞」の提案を積極的に活用すること。



表彰

全国町村議会自治功労者  
長沼氏、嶋貫氏



飯豊町国民健康  
保険診療所長に4  
月1日より着任し  
ました。

診療所所長に橋本直土先生



飯豊町教育委員  
会教育長に熊野昌  
昭氏、教育委員に  
田林義則氏を任命  
することについて  
同意しました。

教育委員会教育長に

熊野昌昭氏

# 過去最高の予算

## 3月定例会の概要

### 平成28年度予算のあらまし

一般会計予算は過去最高の、72億5100万円、前年度当初比1.3%増、12特別会計は33億6084万円、水道事業会計7億166万円、合わせ113億1350万円、前年度比当初1.5%の増となりました。

平成28年度予算は第「循環と環境、歴史と一小学校改築事業に12文化、産業」「地域の億3738万円(前年活力)の施策に重点的度比6億3029万円に配分されました。増)、ふるさと納税返第一小学校改築事業(増)、ふるさと納税返は、新校舎本体と外構3100万円増)、畜工事、机や椅子等の備産生産拡大支援事業品購入費などです。3241万円(新規)子育て支援医療の対など経費の増額に伴い象年齢を、18歳まで引過去最高となりました。き上げます。

第4次総合計画を見飯豊産米沢牛の生産据え「にぎわいの町」拡大を図るため、繁殖

から肥育まで一貫生産施設送水管工事等は4できるよう支援します。億7000万円で事業少子化・婚活事業補助金、農業集落施設建設、障がい者・児童生徒自立支援、老朽危険空き家対策、新規就農者支援、6次産業化推進等です。

水道水異臭問題があり、新たな水源地を求められ、平成25年度から進めている中浄水施

「循環と環境、歴史と文化、産業」「地域の活力」の施策に重点的に配分されました。第一小学校改築事業は、新校舎本体と外構工事、机や椅子等の備品購入費などです。子育て支援医療の対象年齢を、18歳まで引き上げます。

飯豊産米沢牛の生産拡大を図るため、繁殖

から肥育まで一貫生産施設送水管工事等は4億7000万円です。少子化・婚活事業補助金、農業集落施設建設、障がい者・児童生徒自立支援、老朽危険空き家対策、新規就農者支援、6次産業化推進等です。

水道水異臭問題があり、新たな水源地を求められ、平成25年度から進めている中浄水施

議員から、大規模事業が続いており、借入金が増、基金の大幅な取り崩しをしての大型予算ですので、将来の負担が心配されるとの質疑がありました。

## 第一小学校改築、9月完成

## 18歳まで支援拡充、子育て医療

第2回定例会は、3月1日から11日までの11日間の会期で開催されました。

第1日目に、諸般の報告、行政報告、3議員が一般質問を行い、山形大学xEV飯豊研究センターの共同研究企業誘致

添川住宅団地などをとりあげ、町政をただしました。

第2日目には、条例の制定・一部改正、27年度補正予算、過疎地域自立支援計画、町道路線の廃止・認定、工事請負契約の一部変更について審査し、原案のとおり可決しました。

また、施政方針を受けての総括質疑のあと、予算特別委員

会を設置し、28年度予算を付託しました。

休会中、第4日目に産業厚生常任委員会、総務文教常任委員会を開催、第8・9日目に予算特別委員会を行い審査しました。

最終日に、予算特別委員長の報告を受け、28年度予算を採決し可決しました。また、請願1件を不採択、議会委員会条例の一部改正、27年度補正予算、工事請負契約の締結を原案の通り可決、教育委員会教育長・教育委員の任命に同意、閉会中の事務調査を許可し閉会しました。

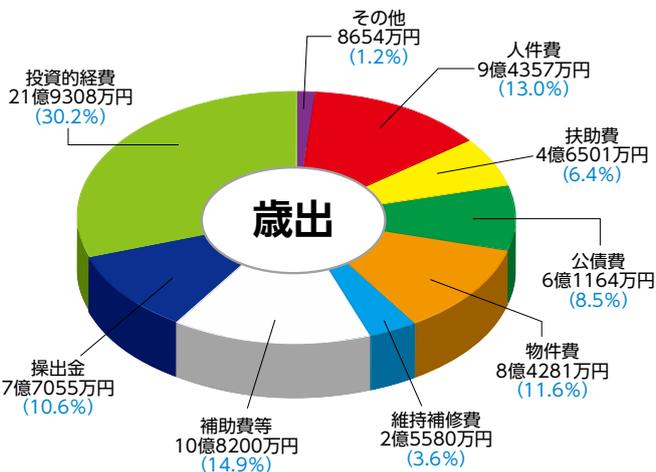
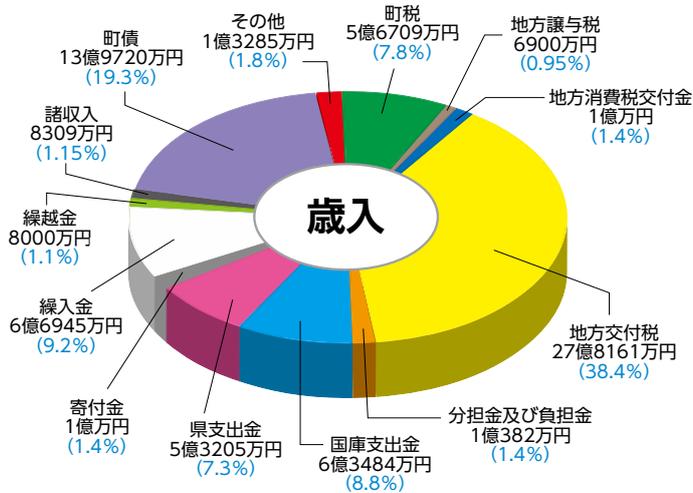
# 主な事業

- 総務企画課関係
  - ☆地域づくり推進事業 1196万円
  - ☆園芸作物産地化推進事業 1710万円
- ☆いいですね
  - 定住推進事業 986万円
  - ☆山大関連育成事業 100万円
- 住民税務課関係
  - ☆空き家対策事業 1121万円
  - ☆中小企業振興事業費補助金 7000万円
- ☆個人番号カード
  - 交付事業 271万円
  - ☆道路新設改良 単独事業 3940円
- 教育委員会関係
  - ☆文化財事業 607万円
  - ☆除雪業務委託 機械購入等 2億5293万円
- ☆公民館運営事業 6315万円
- 健康福祉関係
  - ☆臨時福祉給付金事業 993万円
  - ☆検診事業 1285万円
- 農林振興課関係
  - ☆生産振興助成事業 3400万円

## 平成28年度当初予算額

会 計 名	予算額	
一 般 会 計	72億5100万円	
特 別 会 計	国民健康保険	10億4882万円
	事業勘定	8億9637万円
	直営診療施設勘定	1億5245万円
	後期高齢者医療	8004万円
	介護保険	11億1279万円
	訪問看護	1882万円
	介護老人保険施設	3億2755万円
	物品調達	1797万円
	下水道事業	7億4493万円
	萩生財産区	40万円
	豊原財産区	34万円
	添川財産区	277万円
	豊川財産区	27万円
	中津川財産区	614万円
	水道事業	7億166万円
	損益勘定	2億696万円
	資本勘定	4億9471万円
合 計	113億1350万円	

## 一般会計 72億5100万円



## 施政方針

# 持続可能なまちづくり

## 4つの重点施策で

町長

後藤 幸平



### 重点政策その1

#### 住宅の整備

人口流出傾向が続いており、特に若者の減少が地域づくりの担い手不足や地域活力の低下を招いています。このことから、早急に遊休公有地の活用を視野に入れつつ、住宅団地の事業用地について検討や、空き家の有効利用を行いながら、全町的な定住対策を進めていきます。

とともに、移住希望者に向けて、短期間の飯豊暮らしを体験できるお試し住宅の整備を行います。

### 重点政策その2

#### 雇用と仕事の創出

今春完成した、「山形大学 x E V 飯豊研究センター」は、新しい産業の創出と国内外の企業と連携できる機会を数多く得られるものと期待しています。

今後、この拠点を活かして「自然・文化と最先端科学が融合するまちづくり」を推進する

### 重点政策その3

#### 人材の養成

次世代を担う中学生を対象に、生徒の学習意欲の向上、知識・理解の向上を高めることを目的とした町営学習塾「いいで希望塾」を継続して開講し、自分の力で考え、行動できる人材育成に取り組んでいきます。

また、「にぎわい再現プロジェクト委員会」や「飯豊・農の未来塾」などによる若者たちの町を想う情熱と行動力は町の財産であり、引き続き支援を行います。

### 重点政策その4

#### 地域力の向上

町内各地区では地区の将来像や方向性を検討し、地区が主体的に地域づくり活動に取り組んでいます。これらの取り組みに対し財政的支援を行うとともに若者が地域づくりに参画しやすい環境づくりに努めます。そのためには、行政主導ではなく、自分たちが住んでいる地域を主体的に考え、一人ひとりが地域に目を向けることが大切になります。

そして、食や歴史文化資源を再認識・継承し、地域を基礎とした持続可能な農業農村の地域づくりを町民の皆様とともに実践し「日本でも最も美しい村」を未来に示していきます。



飯豊の魅力を紹介する移住相談会

## 総括質疑

# 豊かで活力ある町づくりを願って



動きだした山形大学xEV  
飯豊研究センター

山口 文隆 議員



問 過去最高の予算編成だが財政の運用管理と情報開示は

町長 平成28年度は、第一小学校改築事業などの大型事業を始め地

域経済や雇用・仕事の創出、暮らしへのきめ細やかな対応を図るため、過去最高の予算編成となりました。歳入は地方交付税の減少分を基金繰入金や町債発

行などで財源調整をしました。限られた財源で重要度や優先度に応じた施策を行っていきます。

財政状況の開示については、財務4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）

の整備を始め、資産評価及び固定資産台帳の整備、一部事務組合や第三セクターと連結した財務書類の整備などにより、住民の皆様により分かりやすい財務

情報を開示し、説明責任を果たしていきます。

問 第4次総合計画と住宅団地設置事業との整合性と移住施策の対応は

町長 本町の人口減少は過去10年間のデータでは毎年平均で130



人ほど減少しています。「自然増減（出生と死亡）より「社会増減（転入と転出）」による影響度がわずかながら高くなっています。

地区別計画では、東部地区などで、住宅団地の具体的な検討について明記されており、

今後遊休公有地等の利活用も視野に入れながら住民の要望に対応していきます。

移住施策については「高円寺チャレンジショップ」で町単独の移住相談会を平成26年

度4回、27年度5回開催しました。東京ビックサイトで開催された移住・交流推進機構（JOIN）の移住フェアには2年連続で出展しています。

移住者にとっては、自然環境や人柄などの町の魅力だけでなく、仕事、教育、福祉、医療など、生活に直結する情報が重要であり、総合的な定住対策により人口減少に取り組みしていきます。

# 委員会

## 総務文教所管分



予算特別委員長

菅野 富士雄

平成28年度一般会計、特別会計12件及び水道事業会計あわせ14件について、予算特別委員会を設置し審査しました。

委員長に菅野富士雄、副委員長に嶋貫栄助の両委員を選任し、3月8・9日の2日間にわたり慎重かつ活発に審査を行い、いずれも全員一致で認定すべきものとなりました。

### 一般会計

太陽光発電の内容は

高橋委員 地球温暖化防止事業のうち、太陽光発電設備補助事業の内容は。

住民税務課長 太陽光発電の対象の基本は住宅ですが、居住用に供するものであれば対象になります。

飯豊分校の跡地利用計画は

古山委員 飯豊分校利用検討業務の内容は。

総務企画課長 飯豊分校の跡地利用については、定住対策として住宅団地建設を検討しております。

空き家解体予定数は

遠藤委員 空き家対策事業で、解体予定件数は。

住民税務課長 平成27年度までの3年間で老朽危険空き家解体を実施しました。さらに3年間を目標として、平成28年度予算に11件を計上しています。

スキー場の運営状況は

井上委員 スキー場管理業務等について、管理は適切かどうかの検討状況は。

町民センター所長 管理業務については、ロッジの施設管理のほ



住宅団地整備予定の飯豊分校跡地

普通地方交付税の見通しは

長沼委員 地方交付税6619万円減額は普

か、夏期間の利用等、多岐にわたっています。指定管理料についてはその年度の終了段階で事業報告及び実績報告書で確認しております。

質問と  
答弁

# 別 特 算 予

通交付税か。国の地方  
財政対策による減額か。  
平成28年度以降も交付  
税減額で推移すると考  
えていいのか。

総務企画課長 平成28  
年度の普通交付税の設  
定は、平成27年10月1  
日を基準日とする国勢  
調査の人口を用いてい  
ます。今回国勢調査は  
人口動態を調べるだけ  
でなく、地方交付税の  
算定基礎数値にも用い  
られます。

ふれあい休憩施設  
事業の内容は

嶋貫委員 ふれあい休  
憩施設事業の内容は。

住民税務課長 全体の  
面積で187㎡です。

ふれあい休憩施設の  
面積として、94㎡を貸  
付しております。貸付  
収入はJR東日本業務受  
託事業収入で、切符販  
売類の収入です。歳出  
は管理運営費で、44  
6万円を、町の観光協  
会に業務委託費として  
支出しています。

新「教育長」制の  
運営は

鈴木委員 新「教育長」  
制度によって、町長の  
権限が強化されて、教  
育委員会の独自性が低  
下される危惧もありま  
すが、教育長の考えは。

教育長 教育内容・教  
科書・教職員人事等に  
ついては、教育委員会  
の権限事項で独自性が  
担保されています。こ  
れに対して、財政権限  
を持つ町長と、今後の  
教育行政のあり方につ  
いて、率直な意見を交  
わし、町の基本的な教  
育のあり方を、ともに  
知恵を出して、検討し  
ていきます。

新地方再生マネジャー  
事業の目的は

山口委員 新地方再生



観光協会  
ふれあい施設のキップ売場

マネジャー事業の目的  
は。  
生の課題・問題・目標  
を掲げて、地域の資源  
となるものを、いかに  
生かすかという視点で  
の事業内容です。

総務企画課長 事業の  
目的は、地域を生かす  
ためと、専門家のノウ  
ハウを地域にとり入れ  
て、地域自ら、地域再



親子スキーでにぎわう  
手ノ子スキー場

# 委員会

## 産業厚生所管分

### 一般会計

畜産生産拡大事業  
の内容は

高橋委員 事業補助金  
3241万円の内容と  
町独自の畜産振興対策  
と補助事業は。

農林振興課長 肥育農  
家の子牛購入と、緊急  
の生産費補助金です。  
子牛価格が、5年前  
の2倍以上になってい  
ます。米沢牛のブラン  
ドを守るため肥育農家  
への素牛購入対策を講  
じていきます。また、  
畜舎の増築が4件と養  
蜂農家1件の要望があ  
ります。

高円寺チャレンジ  
シヨップの運営は

古山委員 805万円  
の運営費とある。毎年  
同程度の規模で運営を  
するのか。また、将来  
性はあるのか。

商工観光課長 町の新  
たな総合戦略「まち・  
ひと・しごと」に位置  
づけられています。活用拠  
点として、都市部への  
情報発信と、都市と農  
村の交流の場、移住相  
談窓口などに取り組ん  
でいきます。

戦略的園芸作物拡大  
支援事業の内容は

嶋貫委員 1165万  
円の事業と補助先、果  
樹振興にも取り組んで  
きたが進んでいない、  
振興作物は何か。

農林振興課長 アスパ  
ラガス出荷組合に、太  
陽光ソーラーを利用し  
た灌水設備4台、振興  
部会の選果場に結束機  
と、トマト園芸法人に  
ビニールハウス2棟導  
入するものです。  
果樹振興作物は、桃  
と栗に取り組んでいま  
す。

フォトコンテスト  
全国鳴砂ネット  
ワーク負担金は

山口委員 委託先と事  
業内容は。

町管理の住宅数は

遠藤委員 各地区で住  
宅団地の要望があるが  
町で管理している住宅  
は何戸あるか。

商工振興課長 フォト  
コンテストは飯豊町観  
光協会に委託し、豊か  
な自然環境の情報発信  
を行うものです。  
鳴き砂を利用した特  
産品の開発のために参  
加してきましたが、海  
辺の砂浜を保全する活  
動であり、趣旨の違い  
から脱会を考慮していま  
す。

地域整備課長 町営住  
宅は16戸、いいでハイ  
ツ（定住促進住宅）59  
戸、瑞穂寮6戸を管理  
しています。



美しい飯豊の自然

質問と  
答弁

# 別 特 算 予

## 遊休施設の利用と 認知症対策は

鈴木委員 手ノ子農村改善センターの今後の取り扱いと、認知症対策は。

町長 改善センターは委員会終了後現状確認を行います。また、議会の指導もお願いいたします。



## どう活かす、手ノ子農村改善センター

農林振興課長 手ノ子中里地区基盤整備事業の調査負担金です。

町長 事務費については、過度な負担がかからないように実態を調査し、状況に応じた支援策を検討します。

ラム支援対策チームの協議会が発足しました。サポート養成講座などを開催し、地域ケアに取り組んでいきます。

## 農地整備事業 負担金は

井上委員 手ノ子地区農地基盤整備事業負担金の詳細と、事業に係る地元負担金（事務費等）の助成は考えられないか。

# 特別会計

## 中浄水施設工事は

古山委員 配管はどこに布設するのか。総延長と工期は。春から工事が始まれば、農作業に影響が出ないのか。

地域整備課長 中浄水場から若宮神社のほうに進み、町道椿中線の東側町道を南進し、x E V 飯豊研究所北側の町道を西に進み、椿中線を南進し、萩生配水池まで、約1000mとなります。工期は、出来るだけはやく入札を行い、11月末を予定しています。農作業には十分に配慮をしながら工事を行います。

## 介護保険料の未収 金対策は

嶋貫委員 介護保険料の未納額は。未納者は介護保険の適用外にな

るので収納に努力を。

健康福祉課長 平成27年度滞納額が142万円、54万円が収入済、88万円が未納です。2年で不納欠損扱いになるので、長期滞納者の方に、分納をお願いしながら収納に努めています。



工事が進む中浄水施設

# 住宅団地の造成対策は十分か



鈴木敏夫議員

- 住宅団地造成の取り組みは
- 專業大規模農家対策は
- 地区公民館のあり方について
- 教育方針について

質問 住宅団地造成の取り組みは。

住民の要望に的確に対応

町長 住宅団地造成は人口問題解決の一つの糸口になると考えられます。添川地区の住宅団地造成については、専任の担当を置き添川小学校東側に、用地確保を含めて、2016年度に着手したいと考えています。

質問 專業大規模農家への対策は。

農地中間管理事業協力員を配置

町長 各地域には、農地中間管理事業協力員を配置して、農地の有効利用に努めております。水田の基盤整備は再整備が必要な地域もありますので、順次取り組んでおります。

質問 地区公民館のあり方は。

指定管理制度を廃止し町が職員を配置

町長 平成28年度から指定管理制度でなく、町が職員を配置、事業費も町予算に取り込み執行していくこととしました。運営については、各地区公民館に運営審議会を設置し、地区の皆さんのご意見を反映していきます。

質問 町の教育方針について。

教育大綱を踏まえ策定

教育委員長 町の教育方針は、「学校教育指針」と「社会教育指針」として、教育委員会で策定しています。

学校の経営方針については、町教育委員会

が策定する「学校教育指針」を踏まえ、各学校において決定し、学校経営については、定期的に開催する町校長会や教頭会等を通じて継続的に計画・実践・評価、そして改善に取り組んでいます。また平成28年度さゆり保育園といいで中部幼稚園を一つの認定こども園として開設し、更なる幼保小の連携強化を図ると共に町営学習教室「いいで希望塾」を継続、加えて「山形大学飯豊研究センター」内の「飯豊こども研究所」との連携を図り、子どものための科学する目を育てていきます。



# 持続可能な飯豊の未来を



遠藤 忠議員

- 未来の飯豊の長期戦略は
- 官民連携の社会的投資モデル
- (SIB) 導入の検討は
- 社会貢献事業(CSR)の活用と企業誘致の人材配置は
- 第3セクターの経営統合及び民営化について

質問 未来の飯豊の長期戦略は。

方向性は総合計画で

町長 第4次総合計画が長期戦略に該当する計画と位置付けられていると考えています。計画は、平成32年を目標年次とした10年間の長期的な町づくりの方向を明らかにする行政運営の指針となるものです。

質問 行政コスト削減の為、SIBの導入を検討しては。

SIBは検討分析

町長 SIBはさまざまな社会課題を解決できる仕組みとして注目されています。政府は成長戦略での活用を盛り込んでおり、本町で導入するには、どの事業がふさわしいのか、検討分析し、民間投資

を呼び込む方向で町の課題を積極的に取り組みます。このたび、山形大学の東北創生研究所とも連携をとることを計画しています。

質問 大手企業のCSRの活用と工業団地及び企業誘致活動の人材の配置を伺う。

トップセールスで説明

町長 社会貢献事業は本町はイオン、キャノ

ン日本通運と実施しています。工業団地等を含め誘致活動を山大xEV飯豊研究センターの47企業に対してトップセールスでしっかりと説明し企業誘致に取り組んでいきます。

質問 緑のふるさと公社・飯豊産業開発公社の統合と、老朽化している白川荘を改築する考えは。

しらさぎ荘・白川荘 統合検討中

町長 緑のふるさと公社、飯豊産業開発公社の統合に向けて検討していきます。改築は体力を整え民間を圧迫しないように取り組みます。



築34年の白川荘

# 安心安全で豊かなまちに



嶋貫 栄助 議員

## ○TPP（環太平洋連携協定）での影響と対策は

### ○豪雨時の災害防止策は

質問 TPP大筋合意で本町への影響は。

企業はプラスの影響 農産物の影響は少ない

町長 商工分野において、山形県TPP総合対策本部で検討した結果、本町企業は、輸出実績のある、「衣服部門」は伸びが期待されるものの、輸入品との競合が懸念されます。「鉄鋼部門」「金属製品・電気機械及び輸送用機械部門」は、関税が引き下げられることから、受注の伸びが期

待できません。現時点では、プラスの影響が大きいと考えています。

主食用米については

新たな輸入米は政府備蓄米として買い入れ、一般市場に流通しないので、生産量や米価には影響が少ないと考えます。

牛肉については、現行の38・5%の関税率が合意16年目に最終税率9%になります。低価格の乳用種は輸入牛肉と競合が予想されるので価格の下落が心配されますが、国産和牛

は品質・価格面で輸入牛肉とは、差別化されているので影響が少ないと考えます。

質問 生産コスト削減に農地の集積、大型機械化、特に、基盤整備

事業（個人負担金が少なくなつた）の推進が必要では。

農地の集約化・生産コスト削減を図る

町長 人・農地プランと、農地中間管理機構を活用しながら、意欲的に営農する中心経営者を支援します。また農地を集約化し、農地基盤整備事業にも積極的に取り組み、生産コストの削減を図っていきます。

質問 肥育素牛が少なく、価格が高騰しているが、対策は。

米沢牛を飯豊産に

町長 米沢牛を繁殖から肥育まで、一貫した町をめざし、素牛確保に努めます。

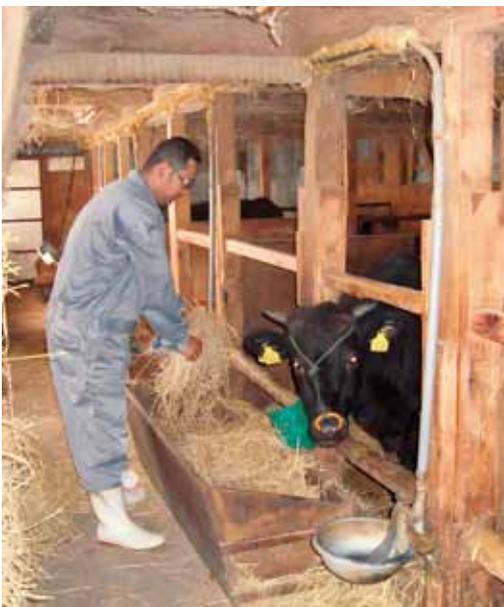
質問 「つや姫」につぐ「はえぬき」の戦略として、ふるさと納税の活用は。

町長 ふるさと納税の返礼品に、はえぬきの試供品も考えていきます。はえぬきの販売促進に努めていきます。

質問 上流部の開発が進んだところほど、豪雨災害が発生するようになった。農地なので農家が整備すべきだが開発災害なので、町で改修を。

豪雨災害のない町に

町長 営事業と団体営事業を活用し、また町単独事業でも整備しています。今後とも、地域・土地改良区等と連携しながら、対策を講じていきます。



がんばる畜産農家

補正  
予算

第一小学校外構工事、中水源取水・浄水工事

工事請負契約締結、増額

第1回臨時議会

受付は4月15日から7月15日の予定です。

第3回臨時議会

○工事請負契約の締結(第1回臨時議会)  
飯豊町立第一小学校外構工事(債務負担行為)  
契約金額 1億130万4千円  
完成日 平成28年12月20日  
契約業者 樋口建設株式会社

○県道米沢飯豊線

○通行止めへの対応

◆補正額225万円

ダム道路が雪崩の危険から通行止めになるため、中津川から菅沼峠(川西)を通って物流、通勤、通学をせざるを得なくなり、デマンド交通、廃棄物処理観光関係、スクールバス運行、幼稚園の臨時開設によるものです。

○経営体育成事業

◆補正額354万円

農業者担い手確保の経営強化支援事業として農作業機械の購入に二分の一を補助するものです。22名の方が補助対象となりました。

○農地集積対策事業

◆補正額527万円

離農者が増加し、担い手農家に農地集積が増えたので、補助金の増額となりました。

第2回定例会

○年金生活者等支援臨時福祉給金

◆補正額270万円

28年度中に65歳以上になる方で、27年1月1日に住民台帳記載のある方、対象者は住民税が非課税者で、扶養者が課税されている方が生活保護世帯は対象外です。支給額は3万円

○デマンド交通事業補助金

◆補正額176万円

利用者減と、置賜病院でのフリー乗車試験運行のため、委託料の増となりました。

平成27年度補正予算

会 計 項 目	補 正 後 の 額
一 般 会 計	74億3144万円
国民健康保険	
事業勘定	9億221万円
直営診療	1億2334万円
後期高齢者医療	7672万円
介護保険	11億1457万円
訪問看護	1764万円
介護保険老人保健施設	3億1192万円
物品調達	1944万円
農業集落排水事業	5億2973万円
生活排水個別処理事業	3906万円
各財産区	1186万円
水道事業	
収益的支出	1億9986万円
資本的支出	5億2146万円

○専決処分の承認  
地方交付税(特別交付金)や各種譲与税・交付金等の確定に伴い地方債の変更、地方創生加速化交付金の交付に伴い事業費の追加及び基金積み立てなどによるものです。

○工事請負契約の締結(第3回臨時議会)

武士名橋外橋梁補修工事  
契約金額 6674万円  
完成日 平成28年10月31日  
契約業者 樋口建設株式会社

完成日 平成28年10月31日  
3億6631万7640円に増額  
契約金額 3億5208万円が  
飯豊町水道事業中水源取水・浄化施設整備工事  
契約業者 樋口建設株式会社

# こども園誕生

新たな条例

新たな条例

一部を改正する条例

◇飯豊町行政不服審査法施行条例

住促進をはかるものです。

◇行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◇飯豊町幼保連携型認定こども園設置条例

第1回臨時会

第2回定例会

◇飯豊町立学校設置条例

地方自治法規定の改正により、行政手続きに個人を識別するため法人番号を利用するも

◇飯豊町保育所設置条例

教育と保育を一体的に出来ることになり、いいで中部幼稚園とさゆり保育園を合併し、飯豊わくわくこども園とするものです。

行政不服審査法の施行に伴い、行政不服審査会の設置と組織運営等を定めるものです。

幼保連携型認定こども園（飯豊わくわくこども園）の設置に伴いいいで中部幼稚園とさゆり保育園を削除するものです。

◇飯豊町児童厚生施設設置条例

◇飯豊町児童厚生施設設置条例

◇飯豊町職員の退職管理に関する条例

◇飯豊町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

地方公務員法の改正に伴い、職員の退職管理について定めるものです。

◇飯豊町立幼稚園保育料徴収条例

◇飯豊町ふるさと定住いいですね条例

◇議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例

奨励金を交付し、定



新制度でスタート

育料を均等化し、月額1万2500円から、1万円とするものです。

◇飯豊町行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

マイナンバー法に基づき、町が個人番号を利用するために定めたものです。

◇飯豊町職員の勤務時間、休暇等に関する条例

男性職員が育児参加をするために、5日間の範囲内で休暇を認めるものです。

◇議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例

## 一部を改正 する条例

# 飯豊わくわく

地方公務員災害補償  
法施行令の改正による  
ものです。

地方税の猶予制度見  
直しと、減免申請期間  
を変更するものです。

### ◇飯豊町特別職の職員 の給与に関する条例

新たに幼保連携型  
認定こども園長（飯  
豊わくわくこども園）  
地区公民館長の報酬  
を設定し、消防団員  
1万6000円に改定  
するものです。

### ◇飯豊町過疎地域固定 資産税課税免除条例

過疎法の有効期限が  
平成33年3月31日まで  
延長されたことに伴い  
期限を同日に改めるも  
のです。

### ◇飯豊町一般職の職員 の給与に関する条例

人事院勧告に基づき  
職員の給与を改定する  
ものです。

### ◇飯豊町公民館の設置 及び管理運営に関する 条例

地区公民館運営を直  
営にするものです。

### ◇飯豊町子ども・子育て 会議条例

組織改編に伴い、教  
育文化課を、教育総務  
課・社会教育課と変更  
するものです。

### ◇飯豊町介護保険条例

### ◇飯豊町国民健康保険 税条例

### ◇飯豊町中小企業振興 条例

### ◇飯豊町指定地域密着 型サービスの事業の人員、 設備及び運営に関 する基準等を定める条 例

添川地区農業集落排  
水施設の供用開始によ  
るものです。

### ◇飯豊町農業集落排水 処理施設の設置及び管 理に関する条例

省令の改正によるも  
のです。

### ◇飯豊町指定密着型介 護予防サービスの事業 の人員、設備及び運営 並びに指定密着型介護 予防サービスに係る介 護予防のための効果的 な支援の方法に関する 基準等を定める条例

東日本大震災の影響  
より、避難者の減免期  
間を延長するものです。

雇用情勢の変化から  
補助対象事業の見直し  
を行うものです。

### ◇飯豊町定住促進住宅 管理条例

中小企業振興条例は  
賛成多数、その他は全  
員一致で可決されまし  
た。

## ◇審査の結果

## 請 願

### 趣 旨

TPP交渉「大筋合意」は撤  
回し、調印・批准しないことを  
求める請願

### 請願者

置賜農民連 会長 小林茂樹

審査結果は不採択

TPP大筋合意がされており、  
不採択としました。

# 第一小改築は順調

## 総務文教常任委員会

### 各課からの報告

### 質問と答弁

#### ●総務企画課

◆中津川白川地区で火災が発生。米沢飯豊線（通称ダム道路）が通行止めになるので、今後、全町的に火災予防の注意を喚起します。

#### ●教育文化課

◆第一小学校改築工事は、予定どおり進捗しています。また、外構工事は、3月3日入札議決後に契約を締結します。

長沼委員 上級職と初級職の責任の度合いや業務内容に差をつけているのか。給料の格付けで差があるのだから上級職には相応の責任を持たせるべきでは。

総務企画課長 今後、採用のあり方や、職務責任について改めて検討します。

菅野委員 「飯豊わくわくこども園」の入園式や運動会等の行事はどのように行うのか。

幼児部と乳児部を合同で行うには、場所等をどのように考えているのか。

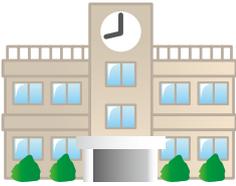
町長 検討はしているがなかなか決められないです。林業関係で利用できないかとか、画家や音楽家などの芸術家にも話をしているが進めません。

井上委員 警察や消防署の方から、事故や事件の連絡はあるか。

あつた場合、庁舎内の対応はどうなっているのか。

●住民税務課  
◆個人番号カードの交付状況は、2月29日現在の申請件数385件に対し、3月2日現在での交付は、101件であります。

◆後期高齢者医療の所得割保険料率が0.74%増となり、均等割額も2200円増となります。



完成が待ちどおしい第一小

教育文化課長 入園者数は86名の予定であり中部公民館等を借用したり、現在の幼稚園の施設で一同に会して実施したいです。

鈴木委員 旧中津川小中学校の利活用をどのように考えているのか。

総務企画課長 事故等については、警察と消防署の方から連絡が入ります。庁舎内での連絡が不十分な場合があったので、今後このようなことがないように、確認していきます。

# ダム道路 ダムマラソン後全面通行止め

## 産業厚生常任委員会



### 各課からの報告



### 質問と答弁



#### ●農林振興課

◆第一小学校改築にともなう、萩生財産区から地元材で、2月29日最初の納品1、247本が完了しました。

#### ●健康福祉課

◆健康元気飯豊町ポイント事業で平成27年7月1日から平成28年1月31日までに、たまったポイントを2月末で交換をする事業に800人が参加し、30ポイント以上が60人、40ポイント以上が32人と健康講座への参加が高まっています。

#### ●地域整備課

◆米沢飯豊線（ダム道路）が、雪崩防止工事のため5月中旬から全面通行止めになります。地区からの要望で菅沼峠を安全に通行できるように、カーブミラー4基設置、退避場24カ所に順次舗装工事を行います。

#### ●介護老人保健施設・国保診療所

◆ダム道路が通行できなくなるため、美の里、福祉の里めざみのデイサービスは、菅沼峠を迂回運行します。

#### ●商工観光課

◆第3セクターの統合については、緑のふるさと公社と飯豊産業開発公社とは類似する業務を行っているので将来的には、会社統合を考えています。



菅野委員 商工観光課と教育委員会と、ごども研究所の利用はどの様にやるのか。

商工観光課 山で研究所を作り最初の授業として小・中学校でロボット授業を開催しました。今後の取り組みをどの様にしていくか、山大から相談を受けていますので、庁内の体制もこれからの課題です。

嶋貫委員 施政方針に種をまくと言うくだりが多くある。新しい事業も必要と思うが、町長が8年目になるので実績も必要では。

農林整備室長 A材125mを確保するには989mの伐採丸太が必要です。

古山委員 スノーパークについて事業名としてはおかしいのではないか。これを冬季節だけの名前にする方法もあるのではないのか。

山口委員 「黒べこ冬の陣」は大変良かった。消費拡大を支援し、本

町長 同感です。住みよい町づくりをめざし努力していきます。

商工観光課長 すみ分けをして使っていき関係者と協議をし冬季節

町飲食店に普及を。

農林振興課 2月10日総括会議をし、達成感と改善点について話し合いをしました。今後の様に普及出来るかは検討します。

高橋委員 第一小学校改築の木材（萩生財産区）を余分に伐採していないか。

井上委員 手ノ子地区で区画整備が始まっている。町中心部でも農地整備が遅れている所があるので、他町の事例を参考に

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。

の誘客施設とします。

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。

町長 隣接市町の先進事例を勉強します。



# 消防署飯豊分署の建築始まる

## 一部事務組合議会報告

### 置賜広域行政組合

平成28年1月24日定例会を開催し28年度会計予算、27年度補正予算、条例の一部改正、監査委員人事、11議案を、また3月18日臨時会を開催し27年度補正予算、条例の制定・一部改正など6議案を審査しいずれも原案の通り可決しました。

一般会計予算は総額28億9401万円、マインバー制度対応システム整備の終了等により前年比27・3%の減となりました。千代田クリーンセンター焼却施設の長寿命化改良工事は継続中です。

### 置賜広域病院組合

2月定例会において27年度補正予算、28年度予算及び条例改正等合わせ10件を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

補正予算では、事業収益が総合病院及び救命救急センターが増となりましたが、長井、南陽、川西のサテライト医療施設が減となりました。28年度予算の

事業収益は、総合病院118億4652万円、救命救急センターが18億728万円、サテライト医療施設は25億6558万円見込んでいます。

尚、本町の負担金は28年度2095万円、230万円増となっています。

### 西置賜行政組合

28年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ21億1041万円となりました。

対前年比53・3%増となり28年度の主な事業は消防署飯豊分署庁舎新築・建設事業費3億1570万円・白鷹分署庁舎新築、建設事業費3億5970万円、白鷹分署に高規格

救急自動車購入費用3200万円が主なものです。

尚、本町の分担金は1億8190万円です。飯豊分署庁舎入札は5月下旬の予定です。完成予定は28年12月を目途に、その後完成検査を受け、業務開始を29年3月1日に予定しています。



消防署飯豊分署 (完成予定図)

### 編集後記

大雪を心配していた冬も終わり、桜の花のたまりが聞こえる季節になりました。本町では間もなく農作業の準備で忙しい時期に入ろうとしています。

常に町民の目線に立つて町民の声を町政に届けるため奮闘しています。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

(古山 記)

### ◆表紙説明◆

28年4月8日旧さゆり保育園・中部幼稚園の2園統合の飯豊わくわくこども園の入園式の写真です。

### 発行責任者

- |      |       |
|------|-------|
| 議長   | 後藤恵一郎 |
| 委員長  | 嶋貫 栄助 |
| 副委員長 | 高橋 亨一 |
| 委員   | 後藤恵一郎 |
|      | 鈴木 敏夫 |
|      | 古山 繁巳 |
|      | 遠藤 忠  |